

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日:令和2年2月26日

事業所名:パルASOVIVA I

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	10名の利用者に対してスペースは確保できているが、特性に応じて別の部屋を使用したり、外出したりしている。	「はい」が6名 「どちらとも言えない」が3名 「いいえ」が1名 「分からない」が3名	引き続き、利用者さんの状況に応じて外出したり、別のスペースを使ったりしながら対応をしていきます。
	2 職員の適切な配置	法律を厳守し、人員配置は行っています。	「はい」が8名 「どちらとも言えない」が4名 「いいえ」が0名 「分からない」が2名	配置基準がある事を説明し続ける事かと考えています。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	バリアフリーにする必要はないので、行っておりません。事業所の前が自転車の往来が多く、門扉を付けて対応しております。	「はい」が7名 「どちらとも言えない」が2名 「いいえ」が1名 「分からない」が2名	送迎時に飛び出したりする危険性のあるものは、門扉をつけて防御するなどしています。必ずしまっているように運営をするよう心がけます。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	清潔には心がけているが万全とは言えないのは事実です。	「はい」が5名 「どちらとも言えない」が2名 「いいえ」が1名 「分からない」が5名	感染症予防など看護師と連携し、職員にも館内美化を徹底させてまいります。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	支援計画書を基に、月間・週間にすべきことを落とし込んでいます。		支援計画が最も大切なものであることを全職員が感じ、遂行していくような運営をしてまいります。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	第三者委員会は、大きなクレームなどが起きたときには設置していますが、稼働する様な問題は起きておりません。		引き続きクレーム対応を真摯に行うようにしてまいります。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	外部の講師を招いて自閉症への対応や、看護師による医療ケアなどの講習を開催している。		今後も継続して講習会を実施していきます。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	定期的なアセスメントや送迎時にご家族と近況を共有している。		今後も継続してご家族と連携を深めて参ります。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	個別支援計画に基づき、教員資格のある者が、別室にて個別学習を行っています。	分からないと答えられた方は1名で、残りの方は「はい」と回答されています。	現在は6カ月ごとの計画ですが、児童の成長に合わせて、3ヶ月ごとに計画を立てられるようにしていきたいと考えています。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	個別支援計画には3項目に絞り、半年毎に計画を見直しております。		今後も継続して、必要な項目を3項目以内に絞り込み、支援をしていきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供（続き）	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	立案した計画を基に、月間目標と週間目標に落とし込んで支援を行っています。	「はい」が10名 「どちらとも言えない」が2名 「いいえ」が0名 「分からない」が1名	今後も継続して、細かく落とし込んだ支援を行ってまいります。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	毎月のイベントや、週のイベントは支援計画会議にて決定しております。		今後も活動プログラムは事前にお知らせできるように、早めの立案に向けて進めて参ります。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	平日と休日はサービス提供時間も変え、イベントを休日に充てるようにしています。また長期休暇はメリハリをつけて、学習時間も普段より多くとるようにしています。	イベントなどはご家族の参加もできるようにすると内容がわかるのですが、お便りでお知らせする方法だと、詳細まで伝わっていないと思われる。そのため、ほとんどの方が「分からない」と回答されています。	現在と同じ考えです。長期休暇は前半と後半で分けられるような配慮が必要と考えています。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	一年を通じると活動プログラムの重複は否めませんが、児童の成長に合わせて内容を変えていくようにしています。		活動プログラムがマンネリ化しないように、ご家族の意向に沿えるように可能な限り家族と連携してまいります。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	サービス提供時間前の時間を使い、週間スケジュールの確認、当日の利用者様毎の送迎ルートや前日の引継ぎなどの時間を設けています。		今後も継続して参ります。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	送迎後職員が集まる時間をとることが難しいので、サービス提供時間前に該当する時間を設けています。		今後も継続して参ります。
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	日々、連絡帳の書式を使い、ご家族が内容を把握しやすいようにまとめております。		今後も継続して参ります。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	細かいものでは1か月にて見直しをかけています。		今後も継続して参ります。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	全体的に職員は若いので、ご家族との対応は経験の豊富な職員に対応させています。		若い職員へ教育を施し、ご家族と対応できる職員を増やしてまいります。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	該当する児童の受け入れはありません。		現在の職員では対応が難しいと思われるので、受け入れは考えていません。
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	該当する児童の受け入れはありません。		現在の職員では対応が難しいと思われるので、受け入れは考えていません。
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	個人情報保護から情報を共有しあうことが難しいと感じています。特に学校においては担当教員の考え方が異なり、この制度を快く受けていただけないところもあります。		連携は必須だと考えております。学校には理解いただけるようお願いしてまいります。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	相談支援専門員の方やご家族と連携し、進路先のサービス管理責任者と情報共有を行っています。		今後も継続して行ってまいります。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	発達支援を専門にされている機関に研修を開催して頂いております。		今後も継続して行ってまいります。
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	現在、障害のない子どもとの活動はありません。	「はい」が1名 「どちらとも言えない」が0名 「いいえ」が5名 「分からない」が6名	慎重に検討していきます。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	事業所の行事へ地域住民を招待する事は、年に一度、カ士の訪問イベント時に声をかけてお集まりいただいております。	「いいえ」「分からない」とお答えになる方がばかりです。	引き続き、カ士の訪問イベント時に声をかけて参りたいと思います。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
保護者への説明責・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	モニタリング時、日々の連絡帳、送迎時を利用して説明しております。	「はい」が11名 「どちらとも言えない」が0名 「いいえ」が1名 「分からない」が1名	引き続き丁寧にご説明いたします。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	モニタリング、個別支援計画捺印時に行っております。	「はい」が11名 「どちらとも言えない」が0名 「いいえ」が1名 「分からない」が1名	引き続きご理解いただけるよう、説明いたします。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	力不足で、そこまでの事は出来ておりません。	「はい」が3名 「どちらとも言えない」が2名 「いいえ」が6名 「分からない」が2名	取り入れていかなければならない事案と考えております。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	モニタリング時、日々の連絡帳、送迎時を利用して情報の共有を図っております。	「はい」が11名 「どちらとも言えない」が1名 「いいえ」が1名 「分からない」が0名	今後も継続して参ります。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	職員には障害を持った母親も数多くおります。経験などお話しする機会を作るなど、ご家族の悩みなどをお聞きするよう努めております。	「はい」が10名 「どちらとも言えない」が2名 「いいえ」が0名 「分からない」が1名	将来、父母の会の様なものを作り、経験談の共有や、情報の共有などが出来る場であるようにしたいと思っております。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	手をつなぐ育成会様とは連携しております。	「はい」が0名 「どちらとも言えない」が1名 「いいえ」が8名 「分からない」が4名	独自で父母の会の様なものを作り、経験談の共有や、情報の共有などが出来る場であるようにしたいと思っております。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	現場で即時対応できるもの是对応し、本部へ報告をしています。しかし内容次第によっては、弁護士や有識者で構成される第三者委員会にて対応をしております。	「はい」が8名 「どちらとも言えない」が2名 「いいえ」が0名 「分からない」が3名	今後も継続して行ってまいります。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	あるいはご家族からのアドバイスを頂きながら、個人個人に合わせた方法で行うようにしております。	「はい」が10名 「どちらとも言えない」が2名 「いいえ」が0名 「分からない」が1名	今後も継続して行ってまいります。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	日々の連絡帳、月ごとに発行しているお便りなどで発信しております。	「はい」が9名 「どちらとも言えない」が0名 「いいえ」が0名 「分からない」が4名	難しいかもしれませんが、ホームページを使った情報発信を進めております。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報の取り扱いについては、事務所スペースにて管理し、第三者の方が入らない様に配慮しております。	「はい」が6名 「どちらとも言えない」が3名 「いいえ」が0名 「分からない」が3名	今後も継続して行ってまいります。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	放課後等デイサービスだけではなく、グループ会社で運営しているその他の障害者サービス間でマニュアルを共有し、定期的な研修を行なっております。	「はい」が8名 「どちらとも言えない」が1名 「いいえ」が0名 「分からない」が4名	研修開催は、勤務時間の問題で一度に集めて行うことが難しいですが、工夫し開催してまいります。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	年に1度、職員及び利用者さんと避難訓練を行っています。	「はい」が3名 「どちらとも言えない」が1名 「いいえ」が0名 「分からない」が9名	年に2回は開催するようにしていきたいと考えております。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	全事業所で起きた虐待の疑いがある支援について情報共有し、該当する職員には厳しい処分と教育を行っております。		今後も継続し、虐待と疑われない支援を行ってまいります。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	身体拘束を要する児童さんはおられません。が、外出時や送迎時など多動の見られる児童様には、必ず一人ずつ職員を配置するようにしております。		今後も継続して行ってまいります。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	食物アレルギーの有無は全職員で共有し、口に入れる者に関しては注意しております。		親御さんと情報を共有し、間違いのないよう全職員に徹底してまいります。
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハット報告書を本部にて保管しております。		今後も継続して行ってまいります。

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日:令和2年2月26日

事業所名:パルASOVIVA II

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	10名の利用者に対してスペースは確保できているが、特性に応じて別の部屋を使用したり、外出したりしている。	「はい」が4名 「どちらとも言えない」が3名 「いいえ」が1名 「分からない」が3名	引き続き、利用者さんの状況に応じて外出したり、別のスペースを使ったりしながら対応をしていきます。
	2 職員の適切な配置	法律を厳守し、人員配置は行っています。	「はい」が8名 「どちらとも言えない」が4名 「いいえ」が0名 「分からない」が3名	配置基準がある事を説明し続ける事かと考えています。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	バリアフリーにする必要はないので、行っておりません。事業所の前が自転車の往来が多く、門扉を付けて対応しております。	「はい」が9名 「どちらとも言えない」が0名 「いいえ」が1名 「分からない」が4名	送迎時に飛び出したりする危険性のあるものは、門扉をつけて防御するなどしています。必ずしまっているように運営をするよう心がけます。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	清潔には心がけているが万全とは言えないのは事実です。	「はい」が6名 「どちらとも言えない」が2名 「いいえ」が2名 「分からない」が7名	感染症予防など看護師と連携し、職員にも館内美化を徹底させてまいります。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	支援計画書を基に、月間・週間にすべきことを落とし込んでいます。		支援計画が最も大切なものであることを全職員が感じ、遂行していくような運営をしてまいります。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	第三者委員会は、大きなクレームなどが起きたときには設置していますが、稼働する様な問題は起きておりません。		引き続きクレーム対応を真摯に行うようにしてまいります。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	外部の講師を招いて自閉症への対応や、看護師による医療ケアなどの講習を開催している。		今後も継続して講習会を実施していきます。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	定期的なアセスメントや送迎時にご家族と近況を共有している。		今後も継続してご家族と連携を深めて参ります。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	個別支援計画に基づき、教員資格のある者が、別室にて個別学習を行っています。	分からないと答えられた方は3名で、残りの方は「はい」と回答されています。	現在は6カ月ごとの計画ですが、児童の成長に合わせて、3ヶ月ごとに計画を立てられるようにしていきたいと考えています。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	個別支援計画には3項目に絞り、半年毎に計画を見直しております。		今後も継続して、必要な項目を3項目以内に絞り込み、支援をしていきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供（続き）	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	立案した計画を基に、月間目標と週間目標に落とし込んで支援を行っています。	「はい」が10名 「どちらとも言えない」が3名 「いいえ」が0名 「分からない」が0名	今後も継続して、細かく落とし込んだ支援を行ってまいります。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	毎月のイベントや、週のイベントは支援計画会議にて決定しております。		今後も活動プログラムは事前にお知らせできるように、早めの立案に向けて進めて参ります。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	平日と休日はサービス提供時間も変え、イベントを休日に充てるようにしています。また長期休暇はメリハリをつけて、学習時間も普段より多くとるようにしています。	イベントなどはご家族の参加もできるようにすると内容がわかるのですが、お便りでお知らせする方法だと、詳細まで伝わっていないと思われる。そのため、ほとんどのの方が「分からない」と回答されています。	現在と同じ考えです。長期休暇は前半と後半で分けられるような配慮が必要と考えています。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	一年を通じると活動プログラムの重複は否めませんが、児童の成長に合わせて内容を変えていくようにしています。		活動プログラムがマンネリ化しないように、ご家族の意向に沿えるように可能な限り家族と連携してまいります。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	サービス提供時間前の時間を使い、週間スケジュールの確認、当日の利用者様毎の送迎ルートや前日の引継ぎなどの時間を設けています。		今後も継続して参ります。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	送迎後職員が集まる時間をとることが難しいので、サービス提供時間前に該当する時間を設けています。		今後も継続して参ります。
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	日々、連絡帳の書式を使い、ご家族が内容を把握しやすいようにまとめております。		今後も継続して参ります。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	細かいものでは1か月にて見直しをかけています。		今後も継続して参ります。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
関係機関との連携	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	全体的に職員は若いので、ご家族との対応は経験の豊富な職員に対応させています。		若い職員へ教育を施し、ご家族と対応できる職員を増やしてまいります。
	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	該当する児童の受け入れはありません。		現在の職員では対応が難しいと思われるので、受け入れは考えていません。
	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	該当する児童の受け入れはありません。		現在の職員では対応が難しいと思われるので、受け入れは考えていません。
	4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	個人情報保護から情報を共有しあうことが難しいと感じています。特に学校においては担当教員の考え方が異なり、この制度を快く受けていただけないところもあります。		連携は必須だと考えております。学校には理解いただけるようお願いしてまいります。
	5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	相談支援専門員の方やご家族と連携し、進路先のサービス管理責任者と情報共有を行っています。		今後も継続して行ってまいります。
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	発達支援を専門にされている機関に研修を開催して頂いております。		今後も継続して行ってまいります。
	7 児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	現在、障害のない子どもとの活動はありません。	「はい」が1名 「どちらとも言えない」が0名 「いいえ」が5名 「分からない」が6名	慎重に検討していきます。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	事業所の行事へ地域住民を招待する事は、年に一度、カ士の訪問イベント時に声をかけてお集まりいただいております。	「いいえ」「分からない」とお答えになる方がばかりです。	引き続き、カ士の訪問イベント時に声をかけて参りたいと思います。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
保護者への説明責・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	モニタリング時、日々の連絡帳、送迎時を利用して説明しております。	「はい」が11名 「どちらとも言えない」が0名 「いいえ」が1名 「分からない」が1名	引き続き丁寧にご説明いたします。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	モニタリング、個別支援計画捺印時に行っております。	「はい」が11名 「どちらとも言えない」が0名 「いいえ」が1名 「分からない」が1名	引き続きご理解いただけるよう、説明いたします。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	力不足で、そこまでの事は出来ておりません。	「はい」が3名 「どちらとも言えない」が2名 「いいえ」が6名 「分からない」が2名	取り入れていかなければならない事案と考えております。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	モニタリング時、日々の連絡帳、送迎時を利用して情報の共有を図っております。	「はい」が11名 「どちらとも言えない」が1名 「いいえ」が1名 「分からない」が0名	今後も継続して参ります。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	職員には障害を持った母親も数多くおります。経験などお話しする機会を作るなど、ご家族の悩みなどをお聞きするよう努めております。	「はい」が10名 「どちらとも言えない」が2名 「いいえ」が0名 「分からない」が1名	将来、父母の会の様なものを作り、経験談の共有や、情報の共有などが出来る場であるようにしたいと思っております。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	手をつなぐ育成会様とは連携しております。	「はい」が0名 「どちらとも言えない」が1名 「いいえ」が8名 「分からない」が4名	独自で父母の会の様なものを作り、経験談の共有や、情報の共有などが出来る場であるようにしたいと思っております。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	現場で即時対応できるもの是对応し、本部へ報告をしています。しかし内容次第によっては、弁護士や有識者で構成される第三者委員会にて対応をしております。	「はい」が8名 「どちらとも言えない」が2名 「いいえ」が0名 「分からない」が3名	今後も継続して行ってまいります。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	あるいはご家族からのアドバイスを頂きながら、個人個人に合わせた方法で行うようにしております。	「はい」が10名 「どちらとも言えない」が2名 「いいえ」が0名 「分からない」が1名	今後も継続して行ってまいります。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	日々の連絡帳、月ごとに発行しているお便りなどで発信しております。	「はい」が9名 「どちらとも言えない」が0名 「いいえ」が0名 「分からない」が4名	難しいかもしれませんが、ホームページを使った情報発信を進めております。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報の取り扱いについては、事務所スペースにて管理し、第三者の方が入らない様に配慮しております。	「はい」が6名 「どちらとも言えない」が3名 「いいえ」が0名 「分からない」が3名	今後も継続して行ってまいります。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	放課後等デイサービスだけではなく、グループ会社で運営しているその他の障害者サービス間でマニュアルを共有し、定期的な研修を行なっております。	「はい」が8名 「どちらとも言えない」が1名 「いいえ」が0名 「分からない」が4名	研修開催は、勤務時間の問題で一度に集めて行うことが難しいですが、工夫し開催してまいります。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	年に1度、職員及び利用者さんと避難訓練を行っています。	「はい」が3名 「どちらとも言えない」が1名 「いいえ」が0名 「分からない」が9名	年に2回は開催するようにしていきたいと考えております。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	全事業所で起きた虐待の疑いがある支援について情報共有し、該当する職員には厳しい処分と教育を行っております。		今後も継続し、虐待と疑われない支援を行ってまいります。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	身体拘束を要する児童さんはおられません。が、外出時や送迎時など多動の見られる児童様には、必ず一人ずつ職員を配置するようにしております。		今後も継続して行ってまいります。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	食物アレルギーの有無は全職員で共有し、口に入れる者に関しては注意しております。		親御さんと情報を共有し、間違いのないよう全職員に徹底してまいります。
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハット報告書を本部にて保管しております。		今後も継続して行ってまいります。